



SFPE・J ニュース

2002年8月28日
第1巻第3号(通巻3号)

Society of Fire Protection Engineers

Japan Chapter News

本号のハイライト

1

防火技術者協会日本支部
がキックオフミーティ
ングを開催します

2

SFPE 入会ガイダンス

3

火災安全設計指針講習会
報告

4

トピックス
韓国・防火技術者の今
建築学会金沢大会にて

執筆 [富松・上原・堀田]

防火技術者協会日本支部
(略称:SFPE 日本支部)の
情報をお知らせします

1. キック オフ・ミーテ ィングのご案内

2002年9月27日(金)にキック
オフミーティングを開催します。

日時:9月27日・金 18:00~20:30

場所:スクアール麹町(JR・丸の
内線:四谷駅下車)すぐ

議題:定款(日本語版)確認など、
また来賓を迎えてのお披露目と懇
親会を予定しています。

会費:4,000円(当日徴収)

2. SFPE 入会ガイ ダンス

8月6日 16:00~18:00 建築会
館で行われました。

出席者20人で開催され、OHPなど
を使って、申請書の記入法などが
紹介しました。必要書類などは前号
で説明しましたが、英文の卒業証
明書・成績証明書は大学で作成す
る時間がかかるので、早く入手す
ることが強調されました。

正会員の推薦文(英文)について
は典型的なものをメールで提供す
ることになりました。

経歴などについては柔軟に対応で
きること、責任ある立場で仕事を
した月数が重要であること、研究
論文や外部委員活動なども対象と
することなど、世話役から多くの
経験が語られました。以下に世話
役を再掲しますので参考に。

A. 設計事務所ほか:富松太基

B. ゼネコン:佐藤博臣・笠原勲

上原茂男・矢代嘉郎

C. 防災コンサルタント・メーカ
ー:堀田博文

D. 損害保険関係:矢代嘉郎

E. 大学・研究機関:関沢愛・原
田和典

さらに数多くの申請の応募をお待
ちしています。

申込みはsfpejc@giga.ocn.ne.jpま
で

3. 火災安全設計指 針講習会の報告

7月15日13:00~17:00 建築会館
ホールで「建築物の火災安全設計
指針」講習会が開催されました。

日本建築学会防火委員会火災安全
設計小委員会がまとめたもので、
建築基準法の性能規定化を機に、
性能的防火規準をまとめその全体
像を明らかにしようという試みで
す。SFPE 日本支部会員も数多く参
画し、ケーススタディなども続け
ています。内容と講師は以下に。

1. 主旨説明:指針の概要
田中哮義(京都大学)
2. 単体建築物の火災安全上の要件
富松太基(日本設計)
3. 許容安全基準
 - 1)人命安全の確保
萩原一郎(国土技術政策総合
研究所)
 - 2)他人の財産の保護
松山 賢(東京理科大学)
 - 3)消防活動の確保
野竹宏彰(清水建設)
4. 市街地の火災安全上の要件
田中哮義(京都大学)
5. 質疑

91名の受講者があり、盛況でした。
これからの火災安全設計について
のたたき台としての技術的な面で
の「要件」と「許容安全基準」が
示され、活発な議論が展開されま
した。特に性能規定化とそれを支
える技術や解析の進歩で建築の自
由度や可能性につながるものが期



SFPE (米国本部) への申請をお手伝いします
SFPE 日本支部へは誰でも入会できます
キックオフミーティングお披露目を開催します。

待され、関心は相当のものがあ
りました。今後はさらに研究が進み
より安全で確実な指針とすること
が表明されました。SFPE 日本支部
としても大いに協力したいところ
です。また指針は市販されます。

日本建築学会書籍部で購入するこ
とができ、定価は2800円です。
書名：「建築物の火災安全設計指
針」日本建築学会編です。建築学
会員は割引があります。

4. トピックス 韓国・防火技術者の今

国際消火シンポジウムで来日され
た韓国光州廣域市消防安全本部の
李義平氏から韓国における防火基
準、防火技術者資格などについて
お話を伺いました。韓国が性能規
定化を含む防火基準の見直しを精
力的に行っている様子などを聞き、
非常に刺激になりました。李さん
の話の概要は以下のとおり。

- (1) 韓国における防火基準
韓国における主要な防火関係法
規は、建築法と消防法である。
日本と同様に両法規の相互のか
かわり方に課題がある。
仁川国際空港、ワールドカップ
競技場、大規模カジノ、高速鉄
道駅舎などで性能設計の実績が
ある。
性能評価について、建築関係は
自治体が認める方式、消防関係
は国の消防局の中に中央消防安
全委員会がありここで認める方
式になっている。
- (2) 防火技術者の職能、資格
について
国家技術資格法に基づいて次の
ような資格構成になっている。
の方が上位資格。
消防設備技術士 (1975年に制
度化され1977年に第1号が
生まれた。94年ごろまでは年
間1,2名、現在は年間10名
程度しか資格を取れない。李
さんはこの資格の持ち主。大
卒後7年あるいは をとって
5年後に受験資格。この資格
がないと性能設計ができな
い。)
消防設備技士 (大卒あるいは
をとって2,3年の経験)

- 産業設備技術技士 (短大卒)
- (3) 今後の展望
消防法を以下の4つに分けよう
としている。
消防基本法
消防施設管理法
設置維持管理法
危険物管理法
NFSC (National Fire Safety
Code) と呼ばれる米国のような
詳しいコードを準備中である。
これは、以下のように分かれて
おり、ガイダンス的なものと位
置付けて法律から引用する。
機械設備 消火設備など
電気設備 報知設備など
防災設備 避難器具など
建築関係の性能規定化も今後十
分にできると考えている。
(記録：上原茂男)

日本建築学会金沢大 会にて

8月2～4日に金沢工業大学に
て建築学会大会が行われ、防
災・防火に対して多くの研究が
発表されました。またシンポジ
ウムも開催され、多くの成果が
得られました。防火関係ではオー
ガナイズドセッションが開催
され、より突っ込んだ議論が展
開されました。

避難関係では建築計画委員会と
共に「災害弱者」のことが数多
く取り上げられ、高齢社会を反
映するものとなりました。車椅子
混入の避難の諸問題、インス
タントシニアによる高齢者の混
入も興味ある実験や調査が紹介
されました。実務者にとっても
避けて通れないものとなってい
ます。今後の研究が進み、流動
係数や歩行速度などの諸元が整
備され性能設計化につながるこ
を期待します。
煙制御関係は階段加圧など階段
に関する報告が5編と最も多く
、他はアトリウム等の大空間、
煙流動解析手法、排煙効率関連
等多様は報告がなされています。
耐火関係では、鋼構造だけで
はなく、高強度コンクリート、
アルミ合金構造、木質構造等の
火災時耐力算定のための研究成
果が数多く発表され、性能設計

時代への準備が地道に行われて
います。
研究協議会では「小規模雑居ビ
ル火災にどのような対策が可能
か」ということが、防火関係者
のみでなく、法律・保険・規制
あるいは技術開発などの周辺領
域からも活発な意見が出て、社
会問題的広がりを見せています。

パネラーは以下に

1. 主旨説明
長谷見雄二 (早大)
2. 主題解説
(1) 小規模雑居ビル火災安全
対策
松本公平 (明海大)
- (2) 損害保険とリスクマネジメント
田和淳一 (損保協会)
- (3) 歌舞伎町雑居ビル火災へ
の行政の対応
戸田敬里 (新宿区)
- (4) 実効性のある防災対策を
するために
堀田博文 (防災コンサ
ル)
3. 議論
4. まとめ
菅原進一 (東大)

ニューヨーク WTC 崩壊関係では
特別委員会から防災・避難・危
機管理小委員会の吉田主査 (竹
中工務店) より、避難に関する
レポートが出されました。
タワー1とタワー2の違い、航
空機衝突条件の差などから、コ
ア内の避難階段がどのようなこ
とになったか、避難開始のき
っかけが何であったかなど、イン
ターネット検索による証言集な
どから明らかになったことが報
告されました。

また、耐火被覆が衝撃で飛ばさ
れ鉄骨が剥き出しとなり、ジェ
ット燃料点火が引き金となった、
複数階にわたる火災で、梁が落
ち、柱が支えを無くした長柱に
なり座屈していく崩壊メカニ
ズムが紹介され、防火技術者とし
て学ぶべきものが沢山あること
を知りました。

SFPE (米国本部) からも FEMA の
調査団に参加していますし、防
火技術者の役割は需要です。

いろいろなことを得た建築学会
大会でした。

（記録：富松太
基）